

## 自社のデータを把握するには

メタデータの活用を通じて、ハイブリッド環境のデータを把握するには

# IBM

## 目次

---

はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する	3
戦略情報を制御する	6
ビジネスに関するメタデータの役割	8
技術的なメタデータの役割	12
IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション	14
次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける	15

---

---

### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

---

#### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

---

#### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

---

#### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

---

#### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

---

#### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

---

## はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

クラウド・ベースのデータは、業界において競合他社を凌駕できる能力を獲得し、維持しようとする企業にとって、膨大な情報を獲得できる可能性を意味します。しかし、「[情報ガバナンスとクラウドの現状](#)」で説明したように、ほとんどの企業はレガシーのオンプレミス・データと第三者によるクラウド・ベースのデータの突合せを行う課題に直面することになります。ユーザーが重要な意思決定を行うための知見を求めてアクセスするのが、このような「ハイブリッド」環境なのです。

ハイブリッド環境はパブリック・クラウドのソースとオンプレミス・システムからのデータとコンピューティングを統合します。Hadoop のようなスケーラブルなデータ・プラットフォームは、他では得られないコスト・メリットと分析のチャンスをもたらします。しかし、ビッグデータの処理に関しては、Hadoop と Hadoop ベースのソリューションにはそれなりのメリットがあるものの、Hadoop そのものはデータ・コンテンツを把握するためのソリューションは提供しません。Hadoop のようなオープン・プラットフォーム・ソリューションがどんどん複雑化するハイブリッド環境を構築するために使用されているため、増大を続けるデータ・ストアの管理がさらに困難になります。



しかしながら、この混乱状態を制御する方法があります。他の問題と同様に、まず問題の特性を理解する必要があります。重要なのはデータそのものであり、データのソースとデータを管理するために使用されるシステムの重要性は二の次です。最重要課題としてデータに加えデータから得られる情報の管理に取り組むと、その他の課題はスピーディーに解決します。

**はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する**

- 4 つの柱

**戦略情報を制御する**

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

**ビジネスに関するメタデータの役割**

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

**技術的なメタデータの役割**

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

**IBM InfoSphere Information Governance Catalog:  
IBM によるメタデータ管理ソリューション****次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける****4 つの柱**

企業がクラウド・ソースから抽出した情報のセキュリティと信頼性を確保したうえで、クラウドによる財務上のメリットを実現するにはどうすればいいのでしょうか。その答えはガバナンスにあります。

ハイブリッド情報を適切に制御するには、IT 部門と ビジネス部門は以下の 4 つの重要施策を実施する必要があります。

1. **情報の意味に関して広範な合意があること** (ビジネス部門が必要とする情報に関する共通のポリシーとわかりやすいルールおよび情報の処理方法に関するメタデータを含む)。
2. **保有する情報資産の保守と監視に関して明確な合意があること** (オンプレミス・システムでデータを管理するためのオペレーショナル・データの品質に関するルールなど)。
3. **戦略的な情報資産のセキュア化と保護のための全社的なプラクティスと部門別のプラクティスを実施すること** (役割ごとの情報へのアクセス・ルールの規定、情報の共有と第三者からの機密情報の保護に関するルールの作成など)。
4. **全社的なデータ統合戦略を実施すること** (ライフサイクルの管理、データの流れと戦略情報への加工の明文化、継続的な情報の管理に関する計画など)。

このようなコンポーネントは、ハイブリッド環境における情報ガバナンスの基盤となります。いずれの場合も、施策を成功に導くには、プロセスに関する要因、組織的な要因、技術的な要因を組み合わせる必要があります。このような柱を設定できれば、企業はスピーディーに自信を持って柔軟にプロジェクトを進めることができます。

**この e-book では、1 つ目の柱である自社データの把握について主に説明します。****情報ガバナンスとは何か?**

情報ガバナンスのプラクティスは情報の管理・改善・活用に関する包括的なアプローチを提供することにより、ユーザーが知見を獲得し、自信を持ってビジネス上の意思決定を行う環境を実現します。その目的は以下にあります。

- さまざまなターゲットからのさまざまなデータを統合し、データの質を管理し、ライフサイクル全体を通じてデータの質を維持する
- データを保護し、プライバシー要件を遵守する
- ビジネス部門と IT 部門の間で情報に基づくコラボレーションを促進する

このような広範な機能を活用すると、企業は大量の情報を活用するプロジェクト (ビッグデータとアナリティクス、アプリケーションの統合と提供終了、セキュリティとコンプライアンス、マスター・データの管理など) においてデータの価値を高めることができます。

## はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

### 技術的なメタデータの役割

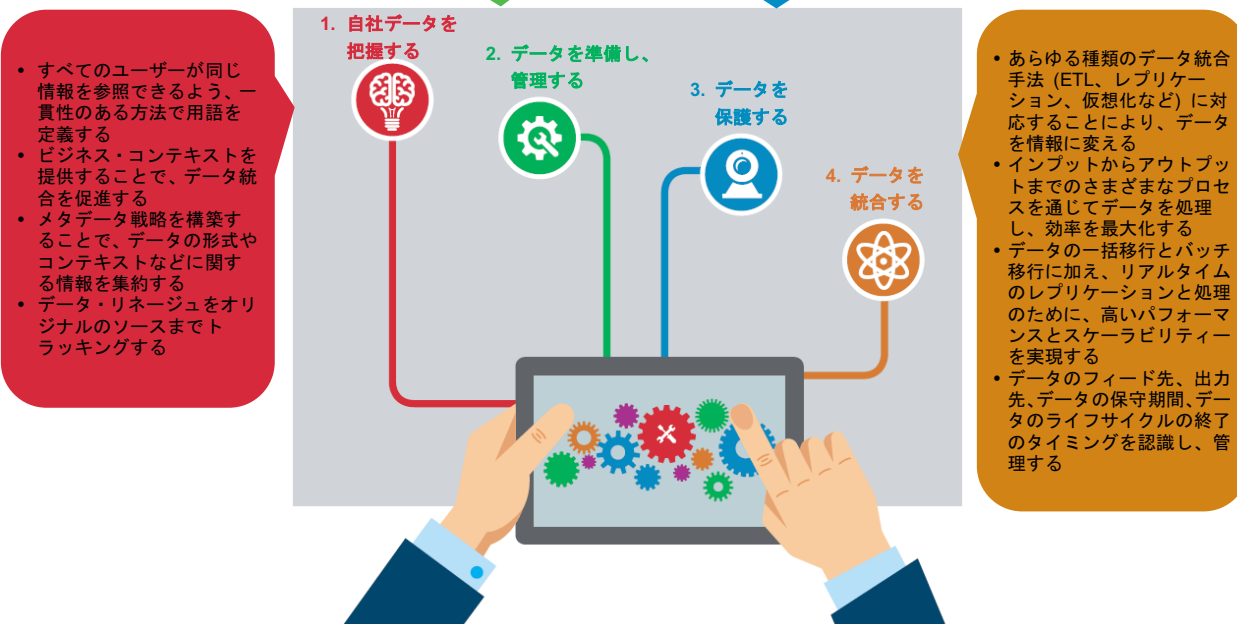
- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

#### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

- 不適切な情報の混在を回避する: 自動的なデータ比較手法を使用することで、情報の完全性と精度を実現する
- 部門ごとのデータ・サイロと全社レベルのデータ管理のバランスを取ることで、すべての潜在的なソースからの関連データを連携させる
- オンデマンドで認証されたユーザーにデータを提供する
- 重要なデータのマスター・データを作成することで、よくあるデータ・エラーを是正し、単一の正確なデータを提供する

- 機密データ (オンライン・データとオフライン・データを含む) が存在する場所と当該データが関連する内容について認識する
- 第三者がクラウド上で保存・管理・処理する社内データを監視する
- 開発環境、テスト環境、品質保証環境のデータを保護し、クラウド・システム、オンプレミス・システム、アプリケーション、その他のリポジトリを通じて継続的にデータのトラッキングを行う
- セキュリティー制御を一元管理し、オンプレミス、仮想環境、クラウドで発生する疑わしい挙動に対して警告を自動化する



---

#### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

---

#### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

---

#### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

---

#### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

---

#### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

---

#### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

---

## 戦略情報を制御する

ハイブリッド環境を採用したからといって、IT 戦略が完全に実現したわけではありません。実際には、クラウド環境の要素はビジネスの優先課題に合わせて迅速に進化します。しかし、クラウド・ベースのソースからのデータの比率が小さくても、IT 部門はデータの統合とセキュリティに関する計画を持つ必要があります。IT 部門は、データがどこに存在する場合でも、企業があらゆるデータとデータの処理によって生まれる情報を「制御」できるよう支援しなければなりません。ハイブリッド・インフラと分散コンピューティングは、戦略的な情報資産を構築するという最終目標を達成する手段となります。

### 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

現代の企業にとって最も重要なビジネス要件とは、自社の情報を完全に把握し、信頼できるようになることです。

**以下の例を考えてみましょう。**財務アナリストが、見込み客からのローン申請を確認しているとします。このアナリストは「住宅ローンのリスク」とは何なのかを明確に把握する必要があります。そのため、リスクに関する承認された定義、許容可能なレベルのリスク、高リスクのクライアントと低リ

スクのクライアントに関するビジネス・ルール、特定の見込み客がこの定義のどこに当てはまるのかを理解しなくてはなりません。

この情報を理解しなければならないだけでなく、使用するアプリケーションに含まれるデータが同じビジネス・ルールと定義に基づいていることに確証が持たなければなりません。このことを理解し、確証を持つことで、アナリストはより迅速かつ確実により正確な承認の意思決定を行うことができます。

残念ながら、ほとんどの企業では、ビジネス・アナリストとデータ・アナリストが特定のビジネス用語に関する複数の定義を持つことがよくあります。さらに問題となるケースとして、コンテキストと使用目的によっては、このような定義のすべてが正しいことがあります。例えば、既存顧客の「住宅ローンのリスク」と新規見込み客の「住宅ローンのリスク」は、全く異なる 2 つのコンセプト、定義、関連するビジネス・プロセスを指します。第三者のクラウド・ベースのデータ・ソースがデータに加わると、この問題はさらに大きくなります。第三者のデータのビジネス・コンテキストを認識していないと、分析にマイナスの影響が発生しかねません。

**はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する**

- 4 つの柱

**戦略情報を制御する**

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

**ビジネスに関するメタデータの役割**

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

**技術的なメタデータの役割**

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実にを行う

**IBM InfoSphere Information Governance Catalog:  
IBM によるメタデータ管理ソリューション**

**次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける**

ビジネスの定義があいまいで一貫性がないことのジレンマは 全社的なビジネス用語集と管理プログラムの欠如によることが多く、これはより広範なメタデータ戦略計画に含めるべきものです。

メタデータ戦略は、技術的なメタデータとビジネスに関するメタデータという 2 つの要素で構成されます (図 1 を参照)。



図 1. メタデータはビジネスと技術の観点から企業の情報を記述します。

---

#### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

---

#### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

---

#### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

---

#### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

---

#### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

---

#### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

---

## ビジネスに関するメタデータの役割

ビジネスに関するメタデータには、ビジネス用語とその定義、使用例、ビジネス・ルールのポリシーと制約が含まれます。これらすべてを組み合わせることで、あるビジネス・コンセプトの意味と物理データ資産における当該コンセプトの実現を定義できます。ビジネスに関するメタデータは以下のような質問に答えることで、ビジネスに関わる人と広範なユーザー・コミュニティのニーズを満たします。

- レポートでは利益率が表示されているが、これは何を意味するのか?
- 利益率の計算に使われたデータはどこから提供されたものか?
- 利益率を決定するにあたりどのような計算が行われたのか?
- この用語を管理しているのは誰か (どのデータ管理者か)?
- 利益率に適用されるビジネス・ルールとは何か?
- 利益率を示す他のレポートはどれか?

ビジネスに関するメタデータを活用するのはビジネス・ユーザーですが、誰でもメタデータを活用すれば意味を理解することができます。例えば、いつ誰がどのようにしてデータ資産を使用し、使用にどのポリシー、ルール、制限が適用されるのか理解できます。

データを把握すると、企業のファイウォールの内側だけでなくデータのエコシステム全体に影響が発生します。データを把握する最初のステップは、ビジネス用語集を作成することです。



はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

IBM InfoSphere Information Governance Catalog:  
IBM によるメタデータ管理ソリューション

次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

### ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする

企業にとって共通の用語を設定することは非常に重要です。社内のコミュニケーションの改善とあいまいさの排除を実現できるため、生産性の向上とリソースの有効活用につながります。ビジネス用語集は、企業のメリットとなるそのような用語の作成・醸成・促進が行えるフレームワークを提供します (図 2 を参照)。

共有される共通のビジネス用語集は、企業が導入する情報ガバナンスとメタデータ管理のプラクティスの中心的な存在として位置づけられます。ビジネス部門と IT 部門が完全に連携するためのコミュニケーション・ツールなのです。

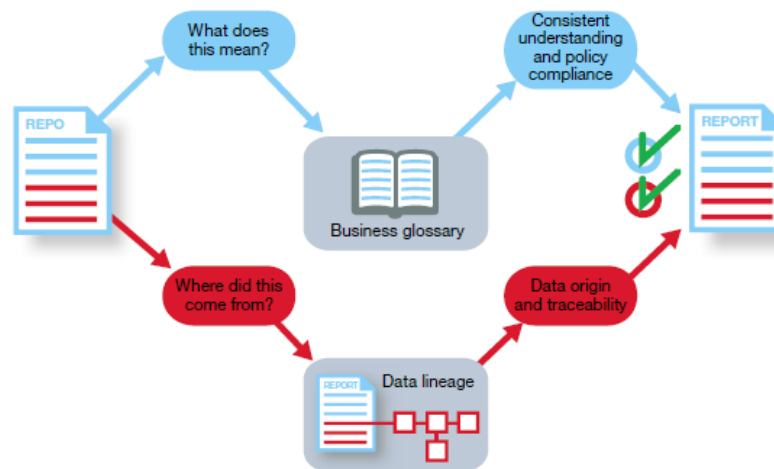


図 2. ビジネス用語集とデータ・リネージュのトラッキングによって、ユーザーは情報の意味とソースに関する質問に迅速に答えられるようになります。

---

### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

---

### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

---

### ビジネスに関するメタデータの役割

- **ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする**
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

---

### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

---

### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

---

### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

---

以下のような質問があるとしたします。

- 相手は何のことを話しているのか?
- 要件を記載した文書に含まれる用語は何を意味しているのか?
- 仕様は要件を反映しているのか?

**ビジネス用語集で共通の用語を管理することにより、ビジネス部門と IT 部門のコミュニティは以下のような質問に答えるために役立つ包括的な一連の情報にアクセスできます。**また、企業が業務を遂行するために生成・保存・活用するデータに関しても理解することができます。ユーザーは適切に設計したカテゴリ階層と慎重に選択し適切な形式を設定したビジネス用語 (ビジネス用語集) を通じて、ビジネス用語、その意味と使用目的、使用目的達成のために使用する IT 資産に関する情報にアクセスし、参照し、検索することができます。

データ、そのソース、意味、使用目的に加え、データの処理の方法に関する情報を抽出できると、データに対する信頼性が高まります。また、データの生成と活用に関するプロセスの効率も改善します。

ビジネス用語集とその他の種類のメタデータを組み合わせると、用語とその意味に関する正式なソースが提供されるだけでなく、ナレッジ機能と分析機能を含むリッチ・データ・ストアにもアクセスできるようになります。ビジネスに関わる人は、以下のようなデータに対する質問への答えをすぐに見つけることができます。

- どんな情報が存在しているのか?
- 何を意味しているのか?
- 情報のソースはどこか?
- 情報はどのように処理され、使用されるのか?
- この情報の最終更新日はいつか?
- この情報の管理者は誰か?

ビジネス用語集には、情報ガバナンスを実現するために必要な属性の多くが含まれています。基本的に、このような属性のすべてを活用するには、社内には存在する情報に対する知識を作成・保持・公開する能力が必要となります。

---

#### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

---

#### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

---

#### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- **ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける**

---

#### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

---

#### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

---

#### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

---

## ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

ビジネス用語集とは単なる一連の用語ではありません。用語をデータ・ソース (オンプレミスのソースとクラウド・ベースのソースを含む) と関連付けると、ビジネス部門とデータ・ソースの連携が実現し、両者のコラボレーションが高まります。この機能は社内のさまざまな役職の人の役に立ちます。

- 一般的なビジネス・ユーザーは用語集とその意味に迅速にアクセスでき、特別な取り扱いが必要なことを示す制限や注意事項などの追加情報にもアクセスできることがよくあります。
- ビジネス・アナリストはビジネス部門からの要件で使用される用語をより正確に理解できるため、より正確な技術的な要件と仕様をより迅速に作成できます。
- ある用語と関連付けられたデータのソースを認識することにより、データ・アナリストと開発者はより正確にジョブの開発とレポートの設計を行うことができます。

ビジネス用語集はコラボレーションを促進する環境を提供することで、企業が情報ガバナンスの目標を達成できるようサポートします。ビジネス用語集がこのような目標の達成につながる例をいくつか紹介します。

## データ・ガバナンス

- 共通の言語を提供することで、Basel II のような規制への遵守を実現します
- ビジネスのリレーションシップとリネージュを表示・検出します
- 変更履歴をトラッキングします

## 説明責任と役割

- 単一窓口としてデータ管理者を設定します

## 生産性の向上

- 管理者がビジネス・ユーザーのニーズに基づいて用語集をカスタマイズします
- オンデマンドでエンタープライズ情報へのアクセスを提供します
- 共通のセマンティック・ハブに基づいて、情報資産の利用と再利用を実現します

## コラボレーションの促進

- 注釈を収集し、チーム・メンバー間で共有します
- 情報のコンテキストをより正確に理解できるようにします
- 信頼性の高い情報の利用と再利用を促進します

---

#### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

---

#### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

---

#### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

---

#### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実にを行う

---

#### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

---

#### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

---

## 技術的なメタデータの役割

技術的なメタデータは、以下をはじめとするデータ資産の技術的な記述で構成されます。

- スキーマ、テーブル、ファイルのレイアウト
- ソース・データとターゲット・データのストア (オンプレミス・ストアとクラウド・ストアを含む) の識別子と物理属性
- データ・マッピング
- データ加工ジョブ、ビジネス・ルール、およびその他のプロセスの正式な仕様

技術的なメタデータを使用するのは、人とシステムの両方です。技術スタッフ (アナリスト、開発者、管理者など) は技術的なメタデータを使用して、IT タスクを実行します。例えば、新規のジョブの要件を分析して仕様を作成し、手法を開発してコーディングを行い、問題を診断してフィックスを開発することができます。

## 業務に関する質問に答える

オペレーショナル・メタデータは、あるアプリケーションやジョブの実行に関する情報で構成されます。このような情報には、日付と時間、処理および拒否されたレコードの数、ジョブの実行を通じて生成されたプロセス、プロセッサ、サーバーに関する統計情報が含まれます。オペレーショナル・メタデータは以下のような質問に答えます。

- ジョブが実行された日付と時間はいつか?
- 処理されたレコードの数はいくつか?
- 拒否されたレコードの数はいくつか?
- ジョブの処理にかかった時間はどれくらいか?

**はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する**

- 4 つの柱

**戦略情報を制御する**

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

**ビジネスに関するメタデータの役割**

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

**技術的なメタデータの役割**

- 業務に関する質問に答える
- **メタデータの管理を確実に行う**

**IBM InfoSphere Information Governance Catalog:  
IBM によるメタデータ管理ソリューション****次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける**

オペレーショナル・メタデータの主なユーザーとは、さまざまなプロセスの実行パフォーマンスを監視する運用担当者です。IT 部門と ビジネス部門の責任者がアプリケーションやコンピューティング・リソースの追加を検討する際には、システム全体のパフォーマンスとスループットに注目する傾向にあります。ビジネスに関わる人はデータがタイムリーに更新されているかどうか注目し、ジョブが最後に実行されたタイミングやデータ更新が最後に行われたタイミングをチェックします。

**メタデータの管理を確実に行う**

メタデータの管理には、データ・オブジェクトに関する情報をカタログ化することが含まれます。適切な管理戦略が提供するツール、プロセス、環境を活用すると、企業は「データに関してどのような内容を認識しており、その内容を認識するに至ったプロセスは何か」という質問に答えられるようになります。

データ・オブジェクト、その意味、特徴、使用目的を簡単かつシンプルに検出・抽出できる能力は非常に効果的であり、企業にメリットをもたらします。この能力を備えた企業はより効果的にリスクに対応し、規制要件を満たし、生産性を向上させることができます。

適切なメタデータ管理を行うと、企業は自社の情報を信頼できるようになります。この結果、得られる情報が正確であることに確証が持てるため、ビジネス上の意思決定を改善できます。

## IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

IBM® InfoSphere® Information Governance Catalog を導入すると、お客様はフロントエンドで共通のビジネス用語集を構築し、バックエンドでデータ・リネージュを管理することで、自社の情報を把握し、ビジネス部門と IT 部門の間でコラボレーションを醸成することができます。InfoSphere Information Governance Catalog が提供する包括的な情報を活用すると、ビジネス部門の目標に IT をより緊密に連携させることができます。

InfoSphere Information Governance Catalog を通じて、データ・ガバナンス・プログラムとデータ管理プログラムを構築・管理することで、データを信頼性の高い情報へと変えることができます。さまざまな情報統合プロジェクトと情報ガバナンス・プロジェクト (ビッグデータの統合、マスター・データの管理、ライフサイクルの管理、セキュリティ、およびプライバシーのイニシアチブなど) においてこの信頼性の高い情報を活用できます。

重要ポイントとして、InfoSphere Information Governance Catalog を導入すると、ビジネス・ユーザーは情報活用プロジェクトにおいて積極的な役割を果たすことができます。技術的なトレーニングを受けることなく、IT 部門とコラボレーションできるようになります。ガバナンスとコラボレーションをこのレベルに高めると、意思決定の精度が高まり、ビジネス・チャンスがより迅速に獲得できる環境が実現します。この結果、企業は情報、その意味、使用方法、信頼性が高い理由を包括的に理解することができます。

InfoSphere Information Governance Catalog は以下を実現することで、企業の情報資産の信頼性を高めます。

- 共通のビジネス言語を構築し、情報に関するビジネス上の観点を管理することで、このような観点と IT の観点を連携させる
- データ・ガバナンス・プロジェクトとコンプライアンス・プロジェクトのためにデータ・リネージュを管理し、検出する
- 情報に関する詳細なエンドツーエンドのブループリントを作成することで、戦略プロジェクトの開始前の時点で、ビジネス上の意図と要件がデータ設計と全社的なリファレンス・アーキテクチャーと連携することを保証する

## 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

### はじめに: ばらばらの情報を適切に制御する

- 4 つの柱

### 戦略情報を制御する

- 自社の情報を信頼する: ビジネス部門が求める要件

### ビジネスに関するメタデータの役割

- ビジネス部門と IT 部門が同じ用語を使用できるようにする
- ビジネス用語をデータ・ソースと関連付ける

### 技術的なメタデータの役割

- 業務に関する質問に答える
- メタデータの管理を確実に行う

### IBM InfoSphere Information Governance Catalog: IBM によるメタデータ管理ソリューション

### 次のステップ: クラウド・ガバナンスの検討をさらに続ける

クラウド・ベースのデータ・サービスと処理サービスはビジネス・ユーザーにとって必須のビジネス・チャンスをもたらし、IT 部門は社内のオンプレミスのトランザクション・システムとレポート・システムの一貫性を管理する役割を負います。ハイブリッド環境のためのガバナンス・ポリシーの作成は、将来時点で検討すべきことではありません。今すぐに検討する必要があります。

この e-book では、ソースが何であれデータを把握するために役立つメタデータの役割について解説しました。ハイブリッド環境における情報ガバナンスのその他の柱について確認するには、本シリーズに含まれる以下の e-book をダウンロードしてください。

- 情報ガバナンスとクラウドの現状
- データを準備し、管理するには
- クラウドとオンプレミスのデータを保護するには
- ハイブリッド環境のためにデータ統合とライフサイクル管理の戦略を開発するには

## 詳細情報

IBM によるガバナンスのソートリーダーシップと関連テクノロジーに関する詳細情報が必要な場合は、[ibm.com/analytics/us/en/technology/agile/](http://ibm.com/analytics/us/en/technology/agile/) にアクセスしてください。

IBM グローバル・ファイナンスはさまざまな支払いオプションを提供することにより、お客様がビジネスを成長させるために必要なテクノロジーの取得をサポートします。IBM は、IT 製品と IT サービスの取得から廃棄に至るまでのライフサイクル全体の管理を提供します。より詳細な情報は、[ibm.com/financing](http://ibm.com/financing) で確認いただけます。



---

© Copyright IBM Corporation 2016

日本アイ・ビー・エム株式会社  
ソフトウェア・グループ

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

Produced in Japan  
2016 年 9 月

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および InfoSphere は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は自己の責任で関連法規を遵守しなければならないものとします。IBM は法律上の助言を提供することはいたしません。また、IBM のサービスまたは製品が、お客様がいかなる法規も遵守されていることの裏付けとなると表明するものでも、保証するものでもありません。



Please Recycle